



特集「彩光苑を知る」は、彩光苑の各種委員会の委員長を紹介しています。今回はボランティア委員会委員長の青木朋子です。

【どんな活動をしていますか】

ボランティア委員会では、入居者様の生活にバリエーションを与えていただけるボランティアの皆様に関わり、活動を行なっています。ボランティアコーディネーターと協力して、新規ボランティアの獲得、意見交換会やボランティア交流会の開催の企画を行っています。

ボランティアの種類は、レクリエーション・散歩・教室・傾聴・リネン・飲食サービス等、多岐に渡ります。ボランティアを続ける上で、色々な悩みや問題が起きる時もあります。入居者様の生活を支えて頂いているボランティアの皆様が、楽しみながらボランティア活動が続けられるよう、意見交換会やボランティア交流会を通じて意見を頂き、反映する活動を行なっています。

【ボランティア交流会では】

平成30年3月15日にボランティア交流会を行いました。まずは、長時間ボランティアをして頂いた方へ表彰を行いました。表彰を受けたボランティアの方は、励みになったものと推測されます。また、参加されました各ボランティア団体と活動内容の紹介を行ないました。今まで知らなかったボランティア団体同士が、お互いを知ることによって有意義な交流会になったと思います。今回のボランティア交流会ではレクリエーションとして、日頃入居者様が行なっている脳活ゲームも行いました。皆様は「難しい」と話されながら楽しんでいるようで、大変好評でした。

【最後にひとこと】

ボランティア委員会は、入居者様及びボランティアの皆様の両方が楽しんでいただけるために、日々努力しています。今後ともボランティアの皆様の活動を支援することで、入居者様の生活に潤いが出ればと思いますので、宜しくお願い致します。

彩光苑では新しいボランティア様を募集中です。詳細はお問い合わせ下さい。

内牧クリニック
便り



尿酸値が高い



痛風の危険性あり！



- ・食事は栄養バランスを見ましょう。
- ・有酸素運動を30分してみましょう。
- ・水分をとりましょう。
- ・アルコールは控えめにしましょう。

春日部市特定健康診査が始まります。

6月1日 ～ 10月31日

お早めの受診をお勧めします。

予約受付：048(755)2118



青木朋子委員長

彩光苑だより 第58号

ふれあい

発行 社会福祉法人 恩賜 済生会
財団
支部埼玉県済生会彩光苑
〒344-0051
春日部市内牧3149
発行者 所長 田嶋 襄
編集 広報委員会
発行日 平成30年4月25日

彩光苑だより 平成30年 第58号

特別養護老人ホーム彩光苑 ・ ケアハウス彩光苑 ・ 内牧クリニック



彩光苑 苑庭



4月1日（日）ケアハウス入居者様のお花見の会をおこないました。当日は天候に恵まれ、風もなく、絶好のお花見日和となりました。彩光苑の敷地内にあるしだれ桜の下に、テーブルと椅子を用意して、オープンテラスのような雰囲気では会場を作り、お団子とお茶を頂きました。20名ほどの入居者様に参加して頂き、世間話をしながら交流を図りました。

お花見に参加された皆様からは「外で桜を見ながらのお団子は格別に美味しく、とても楽しかった。」との感想を頂きました。来年も入居者様が元気でのお花見が出来ることの、楽しみがまた増えました。

TOPICS

❀ 新年度のご挨拶

❀ 彩光苑の口腔ケアの取り組み（その3）

❀ 行事風景

❀ 特集「彩光苑を知る（ボランティア委員会）」

❀ 内牧クリニック便り

新年度のご挨拶

彩光苑所長 田嶋 襄

平素は、当苑の事業運営にご支援ご協力賜り厚く御礼申し上げます。新年度にあたりご挨拶申し上げます。

さて、平成30年度は、彩光苑第3期中期ビジョンの最終年度にあたります。今期の最大テーマは、「地域ナンバーワンの福祉施設を目指す」という大きな目標を達成するための重要な年になります。また、今年度からは、職員の福利厚生及び人材確保対策の一環として、苑内保育室を開設しました。社会貢献活動としましては、「生活困窮及びひとり親世帯の子ども（小・中学生）の学習支援」を開始することになりました。

今年度の彩光苑行動計画骨子並びに第3期中期ビジョンの総括としての主な目標は以下のとおりであります。

行動計画骨子

1. 財務の視点

① 稼働率の向上 ② 人件費(比率)適正化 ③ 経費削減 ④ 各種加算取得

2. 顧客の視点

① 介護サービスの向上 ② 生活環境整備 ③ 顧客満足度向上 ④ 安全対策

3. 内部プロセスの視点

① 業務の効率化 ② CS向上・ES満足 ③ 人材確保 ④ 人事制度・評価

4. 外部プロセスの視点

① 社会貢献活動推進 ② 災害・不審者対策 ③ ボランティア活動の推進

第3期中期ビジョンの目標

① 入居者の安心・安全対策

② 勤勉で習熟した職員を増やす

③ 入居者の尊厳を守る

④ 職員の礼儀・身だしなみ・笑顔が良い

⑤ コンプライアンスの徹底

⑥ 社会貢献活動の推進

⑦ 入居者への良質なサービスの推進

⑧ ボランティア対策

⑨ 施設の強みの推進、弱みの解消

⑩ 健全経営の推進

以上が彩光苑の今年度の運営の基本方針となります。この目標を達成するためには、職員一人ひとりの意識改革が不可欠でありますし、更なる努力を重ねつつ、スピーディに実行してまいります。

内牧クリニックにおきましても、引き続き地域医療に専念し、無料定額診療、地域包括システムにおきましても積極的に取り組んでまいります。今後も一層のご支援・ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ボランティア交流会

3月15日に「平成29年度 彩光苑ボランティア交流会」が開催されました。ボランティア交流会は、彩光苑で活動されているボランティア様に感謝の意を込めて、毎年開催しているものです。今回は、55名のボランティア様にお集まり頂きました。



交流会のメニューには、日頃のボランティア活動状況を、映像で次々と紹介する企画が好評でした。その後は入居様が日頃行っている脳トレゲームを全員で挑戦しました。

最後は、食事を召し上がりながら、日頃顔を合わせる機会の少ないボランティア様同士が、お互いの課題などを話し合い交流を深められていました。



彩光苑の口腔ケアの取り組み(紹介) その3

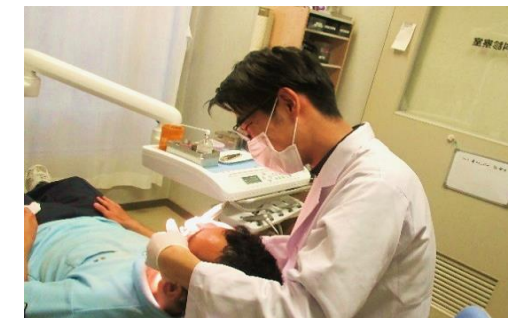
彩光苑の口腔ケアの取り組み(その3)をご紹介します。今回はシリーズ最終回につき、主治医である篠崎裕道歯科医師に総括していただきました。

要介護高齢者における日常生活の一番の関心ごとは食事だという(愛知医報1998)。食事は栄養を摂取するためであると同時に、食事の味や他者とのコミュニケーションを楽しむ時間である。

しかし、高齢者にとって一番の楽しみであるはずの食事が、摂食嚥下障害によって満足にできない人が近年増えている。平成23年の厚生労働省の統計によると超高齢社会を迎えた日本では、肺炎の死亡率は増加傾向にあり現在は脳血管疾患を抜いて死因の第三位となった。このうち特に高齢者に対する肺炎では摂食嚥下機能低下を原因とする誤嚥性肺炎が問題視されている。肺炎で亡くなる方の9割以上が65歳以上の高齢者で、その多くは誤嚥性肺炎が原因と言われている。また、死因5位の不慮の事故のうち30%は窒息とされ、窒息死亡総数における高齢者の占める割合は8割を超えている。このことから、高齢者における死因の大部分に摂食嚥下障害が関わっていることがわかる。



篠崎裕道歯科医師



診療の様子

彩光苑では、こうした問題に対応すべく常勤の歯科衛生士を配置し施設内に歯科室を有している。歯科医師・衛生士によって専門的口腔ケアを行ったグループ、そうでないグループを比較すると肺炎発生率が40%、肺炎による死者数は50%減少したとの報告があり、肺炎対策に専門的口腔ケアは欠かせない(米山1999)。施設利用者は定期的に歯科医師による口腔内及び嚥下機能の診査を経て、それに基づき歯科治療、口腔ケア、食事摂取の方法や食形態の適正が決定される。精査を必要とする利用者に対しては内視鏡を用いて嚥下機能検査を適宜実施する。また、歯科衛生士による日々の専門的口腔

ケアを通して利用者の口腔内の状況の把握と管理を徹底し、介護にあたるスタッフと診療にあたる歯科医師と常に情報を共有している。

彩光苑でのこうした取り組みは全国的にみると非常に稀で先駆的といえるが、超高齢社会における現在の介護福祉施設において必須の取り組みである。今後は、この取り組みを通して関連する全てのスタッフに対して、摂食・嚥下に関する知識の更なる補充や効率的な口腔ケア方法の周知が課題となる。単に口腔内を清潔に保つ目的の口腔ケアではなく、嚥下機能改善を目指すリハビリテーション要素を含む口腔ケアが実践できるようにしなくてはならない。摂食・嚥下障害は介助の方法一つで改善することも少なくなく、施設利用者に関わる全ての職種が正しい知識をもって接することが重要である。

ひな祭り

ケアハウスでは、3月3日(土)にひな祭りのお茶会を開催しました。入居者様には桜餅と甘酒を提供し、ひな祭りの由来などを話したり、和やかなムードでお茶会を楽しみました。

入居者様同士の交流を図る良い機会になり、たくさんの笑顔を見ることができました。

